

Scope Cycling



FAQ

目次

1. 一般的な FAQ	3
1.1. フリーホイールの音を軽減するにはどうすればよいですか？	3
1.2. ホイールのリムから水を取り除くには？	9
1.3. ホイールの洗浄方法	9
1.4. Scope ホイールのシリアル番号はどこに記載されていますか？	10
2. Artech に関する FAQ	12
2.1. 自転車に Artech ホイールをアライメント調整する方法	12
2.2. Artech ホイールの遊びをなくす方法	13
2.3. Artech ホイールのベアリングを交換する方法	16
2.3.1. Artech フロントホイール	16
2.3.2. Artech リアホイール	23
2.5. ハブシェルの白い点は何ですか？また、どうすれば取り除けますか？	32
2.6. Artech ホイールの調整方法	32
3. Race シリーズに関するよくある質問	34
3.1. Race シリーズホイールの調整方法	34
3.2. Race シリーズホイールのベアリングの交換方法	34
3.2.1. Race シリーズフロントハブ	35
3.2.2. Race シリーズリアハブ	39
4. Sport シリーズ	46
4.1. Sport シリーズホイールの調整方法	46
4.2. Sport シリーズホイールのベアリングの交換方法	46
4.2.1. Sport シリーズフロントハブ	46
4.2.2. Sport シリーズリアハブ	51
5. その他の質問	56

1. 一般的なよくある質問

1.1. フリーホイールの音を軽減するにはどうすればよいですか？

質問

フリーホイール時の Scope ホイールの音を軽減したいです。

回答

注：Scope 純正のグリース（SC2021263）または、サイレンスグリース（SC2022350）のみを使用してください。他のグリースやオイルは使用しないでください。

不適切なグリースやオイルを使用すると、関連するシステムに問題が発生する可能性があります。



Scope 純正グリース（SC2021263）



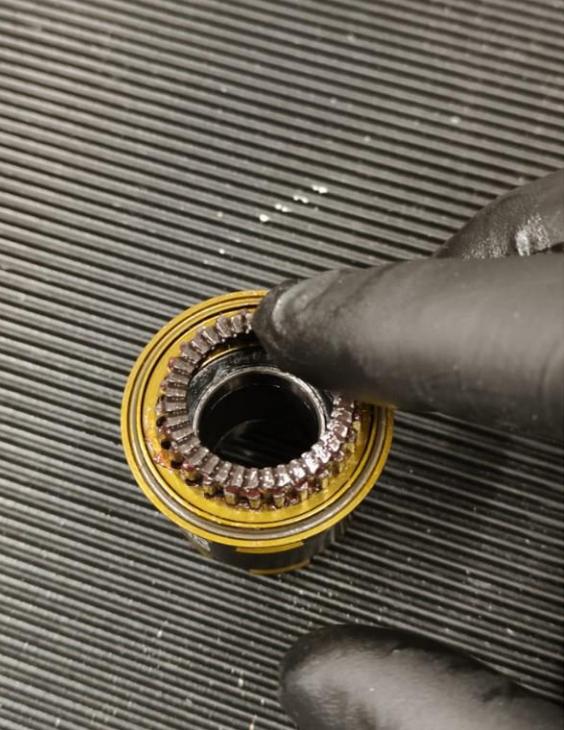
Scope サイレンスグリース（SC2022350）

Artech または Race シリーズのホイールをお使いの場合、リアホイールハブには Scope のダイヤモンドラチェットシステムが装備されています。

フリーホイール中に聞こえる音は、2つのラチェットが互いに反対方向に回転しながら噛み合っていない状態になることによって発生します。

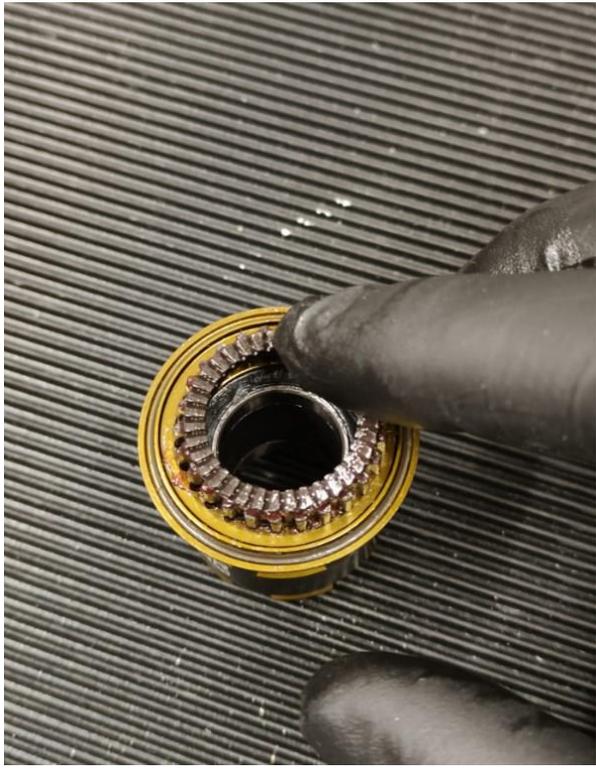
騒音を低減するために、スコープはサイレンスグリース（SC2022350）を提供しています。このサイレンスグリースは、ダイヤモンドラチェットシステムの通常の純正グリースと交換して使用することで、関連システムの騒音レベルを低減できます。

サイレンスグリースの塗布手順は以下のとおりです。

作業内容	画像
<p>スルーアクスルを緩めて、自転車から後輪を取り外します。</p>	
<p>ドライブ側のエンドキャップを外すには、ハブ本体（カセットが取り付けられている場合はカセットも含む）をハブから引き抜きます。エンドキャップが緩み、ハブ本体（カセットも含む）をハブのアクスルから取り外すことができます。</p>	
<p>通常、「小型」ラチェットはフリーハブ本体の裏側に残ったままになっています。その場合は、小型ラチェットをフリーハブ本体から引き抜いて取り外してください。</p>	

作業内容	画像
<p>ハブシェル内にある「大きい」ラチェットを取り外します。</p> <p>フリーハブ本体を取り外した際に、既にハブシェルから大きなラチェットが外れている可能性があるので注意してください。</p>	
<p>大小のラチェットをきれいな布の上に置き、乾いた布で古いグリースや汚れを取り除きます。</p>	

作業内容	画像
<p>サイレンスグリースを取り、両方のラチェットの上に少量塗布します。</p> <p>さらに、ラチェットの周囲にもグリースを塗布します。</p> <p>グリースの塗布量は約 3ml をお勧めします。</p> <p>グリースの量の目安は写真をご覧ください。</p>	 A close-up photograph showing a person's gloved hand applying a thick, blue grease to the teeth of a ratchet gear. The gear is part of a larger mechanical assembly, and the background shows the spokes of a bicycle wheel.
<p>次に、まず大きなラチェットを手を持ち、車軸に取り付けます。</p> <p>大きなラチェットの歯先が外側（ドライブ側／カセット側）を向いていることを確認してください。</p> <p>次に、大きなラチェットをスプリングに押し付けながらハブシェルに押し込みます。</p> <p>スプリングがラチェットを外側に押し戻すのを感じるはずです。</p>	 A photograph showing a person's gloved hand installing a large ratchet gear onto a hub shell. The gear is being pushed onto a spring mechanism. The background shows the spokes of a bicycle wheel.

作業内容	画像
<p>小さなラチェットを手に持ち、フリーハブボディに組み戻します。</p> <p>ラチェットの歯先が外側を向いている必要があります。</p> <p>つまり、歯先が見える状態です。</p>	 A close-up photograph showing a person's gloved hand holding a small, yellow ratchet. The ratchet is being inserted into a circular hub body. The ratchet's teeth are visible and pointing outwards. The background is a dark, textured surface.
<p>次に、フリーハブボディをアクスルに取り付けます。</p> <p>フリーハブボディを持ち、ベアリングに焦点を合わせることで、フリーハブボディをアクスルにガイドできます。</p> <p>ベアリングはアクスルと一直線になっているはずですが。</p> <p>人差し指を使って、フリーハブボディをアクスルの中心に合わせることができます。</p>	 A photograph showing a person's gloved hand using a ratchet to attach a hub body to an axle. The ratchet is positioned on the hub body, and the axle is visible. The background shows the spokes of a bicycle wheel.

SCOPE

作業内容	画像
<p>大きなラチェットがハブシェルにしっかりと固定されているか確認してください。固定されていない場合は、大きなラチェットを軽く押して元の位置に戻してください。</p> <p>次に、フリーハブボディをハブに向かって押し込みます。</p> <p>大きなラチェットがハブにしっかりと固定されていない場合、または小さなラチェットがフリーハブボディにしっかりと固定されていない場合は、ボディを押すのをやめ、まず両方のラチェットをしっかりと固定してください。</p>	 A close-up photograph showing a person's hand wearing a black nitrile glove. The hand is holding a large, silver-colored ratchet mechanism. The ratchet is being pushed or adjusted against a hub shell. The background is dark and out of focus, showing some mechanical parts.
<p>エンドキャップを車軸に戻します。</p> <p>この際、もう片方の手でディスク側から車軸を押さえます。</p> <p>エンドキャップを押し込んだ際にカチッという音が聞こえれば、エンドキャップが正しく取り付けられていることがわかります。</p>	 A close-up photograph showing a person's hand wearing a black nitrile glove. The hand is holding a cylindrical end cap and is in the process of sliding it onto a hub. The hub has several spokes radiating from it. The background is dark and out of focus.

1.2. ホイールのリムから水を取り除くにはどうすればいいですか？

質問

リムの内側に水が入っています。これは正常な状態ですか？また、どのように取り除けばいいですか？

回答

大雨や非常に湿ったコンディションでは、スポークやバルブの穴からカーボンリムに水が入り込む可能性があります。

2021年以降のすべてのScopeホイールには、水を除去できるウォーターホール付きのリムが採用されています。以下の手順に従ってください。

1. 自転車からホイールを取り外します。
2. 水穴の位置を確認します。リムごとに水穴が1つあり、反ドライブ側のバルブ付近にあります。
3. 水穴が最も低い位置になるようにホイールを持ち、リム内部の水が確実に排出されるようにします。リム内に大量の水が入っている場合は、水穴が最も低い位置になるようにホイールを地面に置いてください。
4. リムから水を抜いたら、ホイールを自転車に戻します。

1.3. ホイールの洗浄方法

質問

ホイールはどのように洗浄すればよいですか？

回答

一般的に、ホイールは水と石鹼で洗浄することをお勧めします。高压洗浄機で洗浄することも可能ですが、ノズルをハブに直接向けないでください。ハブに水や汚れが入り込む可能性があります。

また、ブレーキクリーナーがホイールに付着しないようにしてください。ホイール洗浄の手順は以下の通りです。

1. 自転車からホイールを取り外します。
2. まず、カセットを洗浄します。脱脂剤を使用することもできますが、カセット本体以外のものに脱脂剤をスプレーしないようにご注意ください。
刷毛を使用してカセットの歯車を洗浄できます。
カセットを洗浄した後、水で洗い流してください。
3. 次に、スポンジまたは洗浄用手袋を使用して、リムとハブを洗浄します。ホイールの洗浄には、水と石鹼を併用してください。
4. ハブについては、スポンジや洗浄用手袋では届きにくいスポークフランジ部分を清潔なブラシで洗ってください。
5. 両方のホイールを洗った後、石鹼や汚れをすべて洗い流すように水で洗い流してください。
6. 布かタオルでホイールを完全に乾かしてください。

1.4. Scope ホイールのシリアル番号はどこにありますか？

質問

ホイールのシリアル番号はどこで確認できますか？

答え

ホイールのシリアル番号を識別する方法は複数あります。まず、前輪と後輪の両方に別々のシリアル番号があることにご注意ください。

各スコープシリアル番号は SC で始まり、5 桁または 6 桁で構成されます (例: SC123456)。

シリアル番号は次の場所で確認できます

フリーハブ本体にある製品登録カードについて: 新しい後輪にはそれぞれ、前輪と後輪の両方のシリアル番号が記載された製品登録カードが同梱されています。



ホイールの外装について:
各スコープカートンホイールボックスには、品番と前輪および後輪のシリアル番号が記載されたラベルが貼られています。



SCOPE

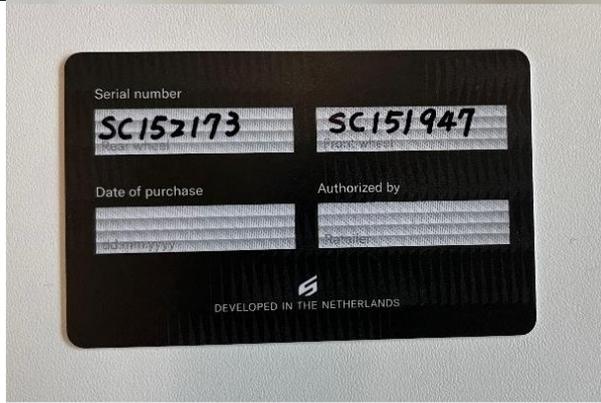
リムのタイヤベッド部分、バルブ穴
付近：

このシリアル番号を読み取るには、リム
テープを剥がす必要がありますので
ご注意ください。



正規品証明カードについて
(Artech のみ)：

Artech のホイールセットには、フロント
ホイールとリアホイールのシリアルナン
バーが記載された正規品証明カードが付
属しています。



さらに、各ハブには固有のシリアル番号が付与されていることにご注意ください。

ハブのシリアル番号はフランジ部分に記載されており、数字と文字の組み合わせで構成されています。

下の写真をご参照ください。ホイールのシリアル番号が見つからない場合は、スコープにお問い合わせ
いただければ、ハブのシリアル番号に基づいてホイールを特定いたします。

スコープでは製造時に各コンポーネントを登録しています。



2. Artech に関するよくある質問

2.1. 自転車の Artech ホイールのアライメント調整方法

質問

Artech ホイールが自転車で正しくアライメントされていないようです（例えば、ホイールが歪んでいて、フレームと一直線になっていません）。どうすれば解決できますか？

回答

Scope ホイール（特に Scope Artech ホイール）が正しくアライメントされていない場合は、以下の手順をお試しください。

1. 前輪と後輪がフレームと一直線になっているかどうかを目視で確認します。

自転車を水平に保ちながら地面に置き、ホイールがフレームと一直線になっているかどうかを目視で確認します。

一直線になっているとは、前輪がフロントフォークにまっすぐ収まり、後輪がフレームにまっすぐ収まっていることを意味します。

基準点として、前輪の場合はヘッドチューブ、後輪の場合はシートチューブまたはシートポストを使用することができます。

注：最近のフレームのほとんどは非対称です。そのため、ホイールがフレームと一直線になっているかどうかを判断するのは非常に難しいため、フォークレグ、チェーンステア、シートステアを基準点として使用することはお勧めしません。

ホイールが正しく調整されていない場合は、次の手順に進みます。

2. スルーアクスルを取り外して、正しく位置合わせされていないホイールを取り外します。
スルーアクスルを取り外した後、ホイールをフォークまたはフレームから取り外します。
3. 次に、エンドキャップが正しく取り付けられており、損傷や摩耗がないことを確認します。
エンドキャップの位置がずれている場合（例えば、斜めになっている場合）は、エンドキャップを取り外してください。次に、アクスルとエンドキャップを点検・清掃し、著しい摩耗の兆候がある場合は部品を交換してください。次に、エンドキャップをアクスルにカチッと音がするまで押し込みます。カチッと音が聞こえれば、エンドキャップがアクスルにしっかりと取り付けられたこととなります。
4. これで、ホイールをフォークまたはフレームに取り付けることができます。ホイールをフォークまたはフレームに取り付け、スルーアクスルを所定の位置に押し込みます。
ただし、スルーアクスルはまだ締め付けしないでください。
5. この時点で、スルーアクスルを固定する前に、自転車を地面から持ち上げることを強くお勧めします。その理由は、自転車がスルーアクスル、つまりホイールに「傾いている」場合、ホイールが斜めになりやすいためです。
そのため、自転車を地面から持ち上げ、ホイールを回転させてください。
ホイールを回転させることにより、ホイールが正しい位置に配置されます。
6. トルクレンチを使用して、遊びがなくなるまで車軸を締め付けます。
フレームの推奨トルク仕様を超えて締め付けしないでください。

- 7 最後に、ホイールがフォークまたはフレーム内で正しく調整されているかどうかを確認してください。
- 問題が解決しない場合は、この文書のセクション 7.4 に記載されている連絡先までご連絡ください。問題解決をサポートいたします。

2.2. Artech ホイールの遊びをなくす方法

質問

Artech ホイールを自転車に取り付けると、ホイールに遊びを感じます。この遊びはどこから来ているのでしょうか。また、これを解決するにはどうすればよいですか？

注： Artech の前輪と後輪のアクスル システムは、調整なしで自転車に取り付けたときにホイールがスムーズに動くように開発されています。スルー アクスルには大きなクランプ力があり、ベアリングに張力がかかる可能性があるため、Artech ハブは意図的にバッファを備えて設計されています。その結果、Artech ホイールが自転車に取り付けられていない場合、アクスルシステムに遊びとして説明できるわずかな動きが発生する可能性があります。

この動きは意図的なものであり、ホイールが自転車に取り付けられ、トラフ アクスルが仕様に従って締め付けられると消えます。

Artech ホイールが新しい場合、または Artech ホイールを新しい自転車に取り付けて遊びの問題が発生した場合は、以下のチェックに従ってください。

回答

Artech ホイールをしばらく使用した後に遊びが生じた場合は、ベアリングの交換を含む Artech ハブのメンテナンス手順に従うことをお勧めします。Artech ハブのメンテナンスとベアリングの交換方法については、こちらをご覧ください。

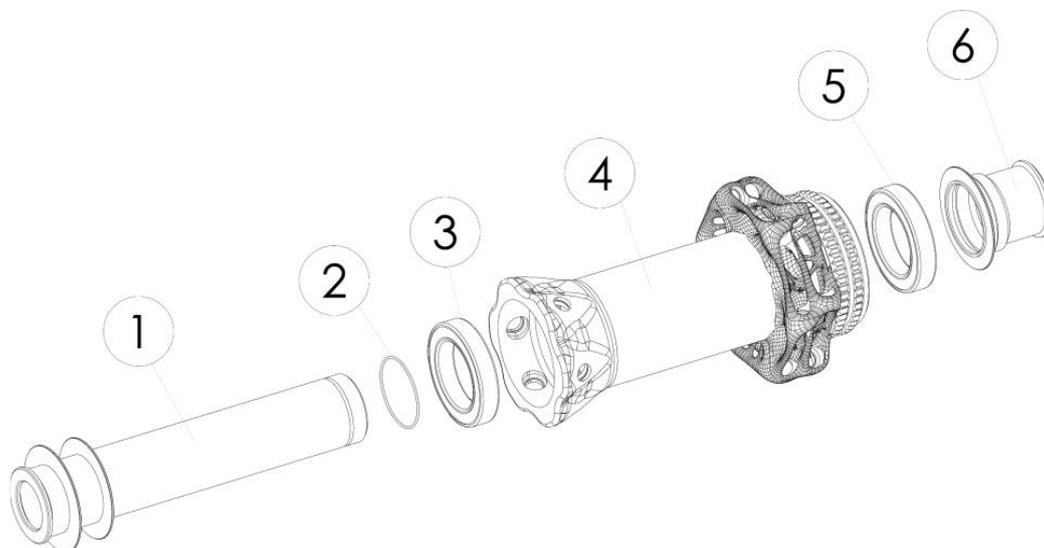
- 1 まず、スルー アクスルを確認します。スルー アクスルを緩めて、自転車から取り外してください。次に、スルー アクスルのねじ山とヘッド、さらにフレームのドロップアウトを清掃します。スルー アクスルを固定する際の摩擦を防ぐために、スルー アクスルのヘッドとねじ山の領域にグリースを塗布することをお勧めします。
 2. スルー アクスルを自転車に戻します。トルク レンチを使用して、遊びがなくなるまでアクスルを締めます。フレームの推奨トルク仕様を超えて締め付けしないでください。さらに、トラフ アクスルを締めるときは、自転車または少なくともホイールが地面から持ち上げられていることを確認してください（ホイールを地面に保持すると、ホイールの位置がずれる可能性があるため）。
 3. リムを 2 本の指で押さえながら、リムを左から右に軽く押して、ホイールの遊びがなくなったかどうかを確認します。
- 遊びを特定するには、遊びを特定しやすいように、少し力を加えることをお勧めします。それでも遊びを感じる場合は、次の手順に進んでください。

4. 前の手順で、スルー アクスルが適切なトルクで正しく取り付けられていることを確認しました。まだ遊びがあるため、遊びの根本的な原因は、フレームとトラフ アクスルの締め付け力が限られていることにあると考えられます。このような状況に備えて、特別な青いエンゲージメント スペーサーと O リング キット(SC2024144) があります。次の手順では、このキットをインストールして遊びの問題を解決する方法について説明します。



Artech O リング キット (SC2024144)

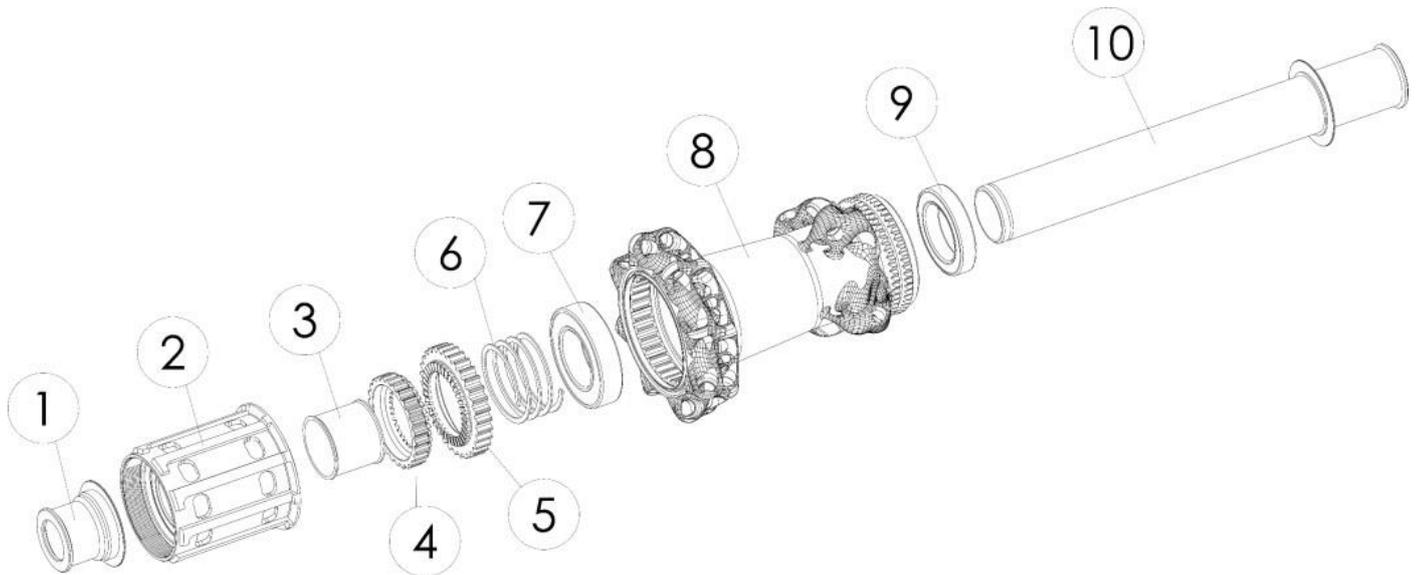
5. 前輪に遊びがある場合:
- トラフ アクスルを緩めて、フォークからホイールを取り外します。次に、ロックリングを緩めてディスク ローターを取り外します。
 - ハブのディスク側のエンド キャップを取り外します。これは、エンド キャップをしっかりと引っ張ることで実行できます。エンド キャップが固くなっている場合は、エンド キャップを引っ張りながら少し回転させることをお勧めします。
 - 次に、アクスルをフロント ハブから取り外します。アクスルはディスク側以外から引っ張ることができ、スライドして外れます。
 - 次に、アクスルを慎重にチェックし、アクスルの端にある黒い O リングを特定します。下の分解図の項目番号 2 を参照してください。



- アクスルから黒い O リングを取り外します (小さなマイナス ドライバーを使用して取り外します)。
- 次に、エンゲージ スペーサーと O リング キットから青い O リングを取り出し、アクスルに取り付けます。青い O リングが指定された位置に配置されていることを確認してください。
- 次に、アクスルをハブに取り付け、非ディスク側からアクスルをハブにスライドさせて、アクスルがベアリングに完全に固定されるまで押し込みます。
- 次に、アクスルを所定の位置に保持しながら、エンド キャップをディスク側に押し込んで取り付けます。エンド キャップが正しく組み立てられていることを確認するには、カチッという音がします。
- 手順 2 に進みます。

後輪に遊びがある場合:

- j. トラフ アクスルを緩めて、ホイールをフレームから取り外します。次に、ロックリングを緩めてディスク ローターを取り外します。
- k. ドライブ側からエンドキャップを取り外します。これは、ハブから本体 (カセットが取り付けられている場合はカセットも含む) を引き出すことで実行できます。エンドキャップが緩み、ハブの車軸から本体 (カセットも含む) を取り外すことができます。
- l 本体を取り外すと、ブロンズ製の係合スペーサーが見えるようになります。車軸からブロンズ製の係合スペーサーを取り外してください。以下の分解図の項目番号 3 を参照してください。



- m. 青いエンゲージ スペーサーを取り、車軸に取り付けます。青いエンゲージ スペーサーが指定された位置に配置されていることを確認してください。
- n. フリーハブ本体を車軸に取り付けます。フリーハブ本体を車軸に取り付けるには、本体を取り、ベアリングに焦点を合わせます。ベアリングは車軸と一直線になっている必要があります。人差し指を使用して、車軸の中央に本体を配置できます。
- o. 次に、エンド キャップを車軸に戻します。このとき、もう一方の手でディスク側から車軸を持ちます。エンド キャップを押すと、カチッという音がして、エンド キャップが正しく取り付けられていることを示します。
- p. 手順 2 に進みます。

2.3. Artech ホイールのベアリング交換方法

質問

Artech ハブのベアリングはどのように交換すればよいですか？ / Artech ハブのメンテナンス方法を教えてください。

回答

一般的に、Artech ホイールのハブは、自転車の中でホイールがスムーズに回転するかどうかを定期的に確認することをお勧めします。ホイールがスムーズに回転しない場合、または異音や外観上の問題が見つかった場合は、ハブのメンテナンスを実施することをお勧めします。

また、ハブは 5,000km ごと、または 1 年に 1 回点検することをお勧めします。さらに、ベアリングは 10,000km ごとに交換することをお勧めします（この間隔は通常の天候と使用状況に基づいています）。

雨天時の使用の場合は、間隔を 5,000km に短縮する必要があります）。

Artech ハブのハブのメンテナンスとベアリング交換の手順は次のとおりです。

2.3.1. Artech フロントホイール

作業内容	画像
<p>a スルーアクスルを緩め、ホイールをフォークから取り外します。</p> <p>次に、ロックリングを緩めてディスクローターを取り外します。</p>	

作業内容	画像
<p>b.ハブのディスク側にあるエンドキャップを取り外します。エンドキャップを強く引っ張ることで取り外すことができます。エンドキャップが固着している場合は、エンドキャップを少し回転させながら引っ張ることをお勧めします</p>	
<p>c. 次に、アクスルをフロントハブから取り外します。アクスルはディスク側ではない右側から引っ張ると、スライドして外れます。</p>	
<p>d. シールドベアリング内径 17mm に適合するベアリングプラーを使用して、右側のシールドベアリングをハブシェルから引き抜きます。取り外したベアリングは再利用しないで廃棄してください。</p>	

作業内容	画像
<p>e. 前の手順で使用したベアリングプラーと同じベアリングプラーを使用して、左側のシールドベアリングをハブシェルから引き抜きます。</p> <p>取り外したシールドベアリングは再利用しないので廃棄してください。</p>	
<p>f. この段階では、ハブ、アクスル、エンドキャップを乾いた布で拭くことをお勧めします。部品の洗浄には脱脂剤を使用しても構いません。</p> <p>新しいベアリングを取り付ける前に、すべての部品をきれいにしておくことが重要です。</p>	

作業内容	画像
<p>g. シールドベアリングキット (SC2024141) からシールドベアリングを取り出し、ハブの右側にあるベアリングシートの上に置きます。</p> <p>シールドベアリングをベアリングシートの上に置こうとする際は、力を入れすぎないように注意してください。</p> <p>力が強すぎると、シールドベアリングやハブシェルが損傷する可能性があります。</p> <p>写真のように、ホイールを垂直に立てた状態で保持します。</p>	
<p>h. シールドベアリングキット (SC2024141) から 2 つ目のシールドベアリングを取り出し、ハブの左側にあるベアリングシートの上に置きます。</p> <p>ホイールを同じ垂直位置に保ちます。</p> <p>これは、ベアリングが外れるのを防ぐためです。</p>	
<p>i. (61803) シールドベアリング (外幅 28mm、内幅 17mm) に対応するベアリングプレス (SC2014554 または同等品) を使用し、シールドベアリングをハブシェルに押し込みます。</p> <p>シールドベアリングが完全に固定されると、それ以上押し込むのにより多くの力が必要になるため、力を入れすぎないことが重要です。</p> <p>この時点で必ず止めてください。</p>	

作業内容	画像
<p>j. シールドベアリングを取り付けた後、シールドベアリングの外側にグリースを塗布することをお勧めします。写真のように、各ベアリングに約 1ml を塗布してください。</p>	
<p>k. 次に、車軸を取り出し、Oリングが正常状態で取付けられているか点検します。Oリングは、一体型エンドキャップ内側の溝に収まっており、アクスル上の溝に噛み合うよう配置されています。Oリングが摩耗または欠損している場合は、エンゲージスペーサーとOリングキット (SC2024144) から新しいOリングに交換してください。キットに同梱されている詳細な説明書に従ってください。</p>	

SCOPE

作業内容	画像
<p>1. 次に、アクスルを右ドライブ側からシールドベアリングに押し込みます。 アクスルが完全に固定され、ハブシェルと一直線になるまで押し込みます。</p>	
<p>m 次に、スルーアクスルを固定したまま、 Oリングを溝に取付けたエンドキャップを ディスク側からスルーアクスルに回転させ ながら押し込んで取り付けます。 カチッという音が聞こえれば、エンドキャ ップが正しく取り付けられていることが確 認できます。</p>	

SCOPE

作業内容	画像
<p>n. ディスクローターをハブのセンターロック スプラインに取り付けます。 次にロックリングを取り出し、手で所定の 位置にねじ込みます。 最後に、ロックリングに記載されている トルクを守って適切な工具で固定します。</p>	
<p>o. 取扱説明書に従って、ホイールをフォーク に戻します。</p>	

2.3.2. Artech リアホイール

作業内容	画像
<p>1. スルーアクスルを緩め、ホイールをフレームから取り外します。</p> <p>次に、ロックリングを緩めてディスクローターを取り外します。</p>	
<p>2. 右ドライブ側からエンドキャップを取り外します。</p> <p>これは、ハブからボディ（カセットが取り付けられている場合はカセットも含む）を引き抜く動作でエンドキャップが緩みます。これで、ボディ（カセットを含む）をアクスルから取り外すことができます。</p>	

SCOPE

作業内容	画像
<p>3. 次に、ハブの軸からエンゲージメントスペーサー、スプリング、および2つのラチェットギアを取り外します。</p>	
<p>4. 次に、リアハブからアクスルを取り外します。 アクスルは左ディスク側から引き抜くと、スライドして外れます。</p>	

作業内容	画像
<p>5. シールドベアリング内径 17mm に適合するベアリングプーラーを使用して、駆動側シールドベアリングをハブシェルから引き抜きます。</p> <p>取り外したシールドベアリングは再利用しないでください。廃棄してください。</p>	
<p>6. 前の手順で使用したのと同じシールドベアリングプーラーを使用して、非駆動側のシールドベアリングをハブシェルから引き抜きます。</p> <p>取り外したシールドベアリングは再利用しないので廃棄してください。</p>	

作業内容	画像
<p>7. この段階では、ハブ、アクスル、エンドキャップを乾いた布で拭くことをお勧めします。</p> <p>部品の洗浄には、生分解性脱脂剤も使用できます。</p> <p>新しいシールドベアリングを取り付ける前に、すべての部品を清潔で乾燥した状態にしておくことが重要です。</p>	
<p>8. ベアリングキット (SC2024142) からシールドベアリングを取り出し、ハブの右ドライブ側にあるシールドベアリングシートの上に置きます。</p> <p>シールドベアリングをベアリングシートの上に載せる際は、力を入れすぎないように注意してください。力が強すぎると、シールドベアリングやハブシェルが損傷する可能性があります。</p>	
<p>9. シールドベアリングキット (SC2024142) から2つ目のベアリングを取り出し、ハブの左側にあるシールドベアリングシートの上に置き、ホイールを同じ垂直位置に保ちます。そうしないと、ベアリングが外れる恐れがあります。</p>	

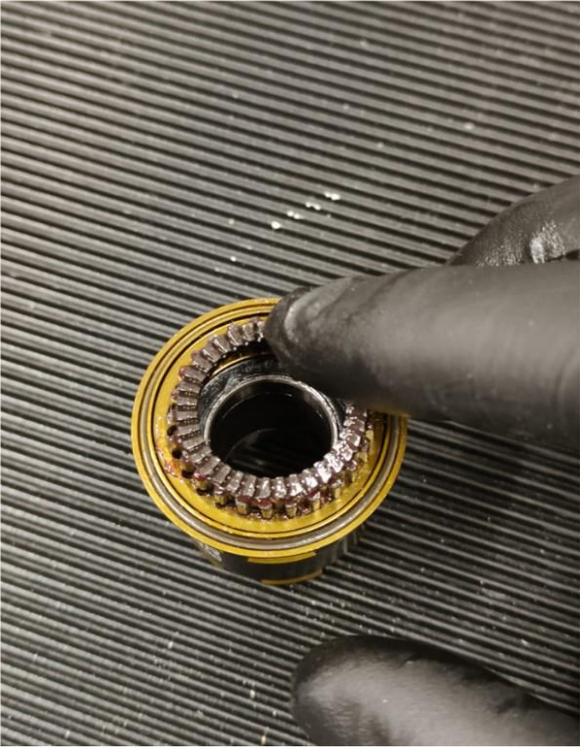
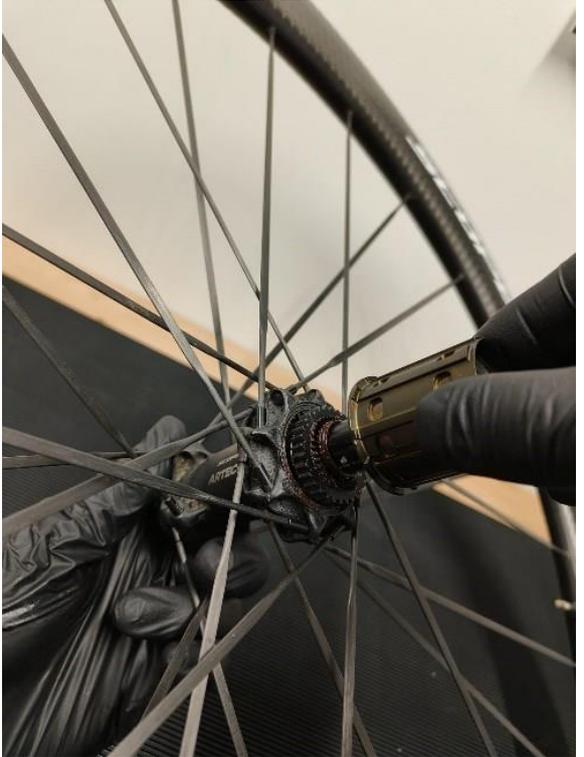
作業内容	画像
<p>10. (61803)シールドベアリング(外幅 26mm、内幅 17mm) および(61903)シールドベアリング(外幅 30mm、内幅 17mm) に対応するベアリングプレス (SC2014554 または同等品) を使用し、ベアリングをハブシェルに圧入します。シールドベアリングが完全に固定されると、さらに押し込む際により大きな力が必要になるため、力を入れすぎないように注意してください。この時点で必ず作業を止めてください。</p>	
<p>11. シールドベアリングを取り付けた後、シールドベアリングの外側にグリースを塗布することをお勧めします。各シールドベアリングに約 1ml 塗布してください。嵌合グリースは、品番(SC2021263 または SC2022350)をご使用ください。</p>	

SCOPE

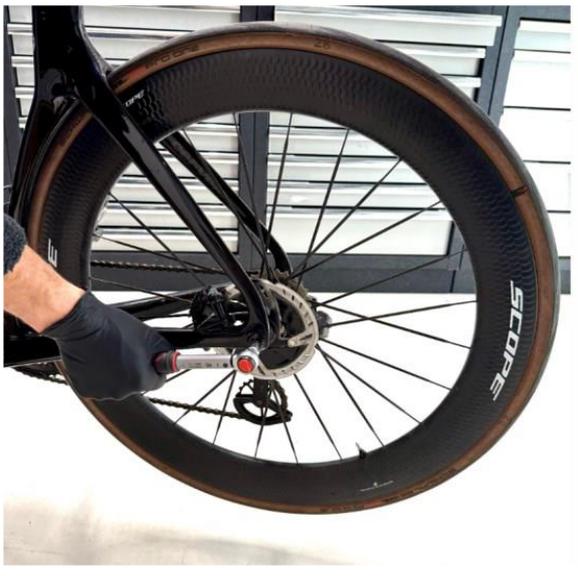
作業内容	画像
<p>12. 次に、アクスルをディスク側からシールドベアリングに押し込みます。スルーアクスルが完全に固定され、ハブシエールと一直線になるまで押し込みます。</p>	
<p>13. スプリングをアクスルに戻します。</p>	

SCOPE

作業内容	画像
<p>14. エンゲージスペーサーをアクスルに取り付けます。 エンゲージスペーサーに摩耗や亀裂がないか確認してください。 エンゲージスペーサーの交換が必要な場合は、キット(SC2024144)をご使用ください。。</p>	
<p>15. 次に、大きなラチェットギアを取り、ラチェットの歯先がハブの右ドライブ側を向くように取り付けます。</p>	

作業内容	画像
<p>16. 次に、2つ目の小さいラチェットギアをフリーハブ本体の後ろのスプライン内に取り付けます。</p>	
<p>17. フリーハブボディ（カセットとエンドキャップを含む）をアクスルに取り付けます。フリーハブボディを持ち、フリーボディ内のシールドベアリング中心に焦点を合わせることで、フリーハブボディをアクスルにガイドできます。</p> <p>シールドベアリングはアクスルと一直線になっているはずですが、人差し指を使って、フリーハブボディをアクスルの中央に合わせるようにして下さい。次にエンドキャップをアクスルに回転させながら押し込みカチッという音が聞こえれば、エンドキャップが正しく取り付けられていることが確認できます。</p>	

SCOPE

作業内容	画像
<p>18. ディスクローターをハブのセンターロックスプラインに取り付けます。</p> <p>次にロックリングを取り出し、手で所定の位置にねじ込みます。</p> <p>最後に、ロックリングに記載されているトルクを守って適切な工具で締め付けます。</p>	
<p>19. 取扱説明書に従って、ホイールをフレームに戻します。</p>	

2.5. ハブシェルに白い点が現れていますが、これは何なのでしょう？ どうすれば取り除けますか？

質問

濡れた状態で走行した後、自転車を乾かさずに保管しました。すると、Artech ハブのハブシェルに白い点が現れました。これは何なのでしょう？また、取り除くことはできますか？

回答

Artech ホイールを濡れた状態でしばらく保管すると、保管時の湿度によっては白い点が現れることがあります。白い点は無害ですが、見た目には不快です。Scalmalloy は耐腐食性に優れていますが、ハブ表面に付着した水分や汚れが化学反応を起こし、白い点が現れます。

白い点を取り除くには、少量の石鹼水でハブシェルを洗浄してください。その後、乾いた布でハブシェルを拭き取ってください。

必要に応じて、セラミックコーティング(例:Sonax セラミックスプレーコーティング)を使用することで、白い点の発生を完全に防ぐことができます。このセラミックコーティングは、ハブを洗浄して乾燥させた後に塗布できます。

2.6. Artech ホイールの振れ調整方法

質問

前輪または後輪の振れがひどいのですが、どうすれば調整できますか？

ホイールのスポークがねじれている、または走行方向を向いていないのですが、どうすれば解決できますか？

回答

注：ホイールの振れ調整はご自身でも可能ですが、Scope 正規販売店またはスポーツバイク専門店にご依頼いただくことを強くお勧めします。

* ご自身での調整作業は、自己責任にて行ってください。

Artech ホイールをお使いの場合は、以下の手順に従ってホイールの振れ調整を行ってください。

- 1.スルーアクスルを緩めて、自転車からホイールを取り外します。
- 2.タイヤをホイールから取り外します（チューブレスタイヤの場合はチューブレスバルブも取り外します）。
- 3.タイヤベッドからチューブレスリムテープを剥がします。
- 4.ホイールを振れ取りスタンドに取り付け、リムの振れ位置を確認します。
- 5.Artech ツールキットからスポークキーとニップルキーを取り出します。
スポークキー（SC2024273）はリムの組み立て穴から挿入します。
ニップルキー（SC2024272）はニップルに押し込みます。

SCOPE

6.次に、スポークキーをカーボンスポークのスチールスプラインに合わせます。

スポークキーには、スポークのスチール部分にフィットする3つのスプラインがあります。

Artech ニップルキー（左）と スポークキー（右）

注：Artech ホイールの振れ取り作業は、必ず Artech スポークキーを使用することが非常に重要です。

他のスポークキーはスポークを損傷し、スポークを適切に保持できないため、使用しないでください。



7.ニップルキーを使用して、ニップルを締める（時計回り）または緩める（反時計回り）ことができます。

8.ホイールの振れ取り作業中は、必ずスポークテンションメーターを使用することをお勧めします。

Artech ホイールの推奨スポークテンションは 110~130kgf です。

9.ホイールの振れ取り作業が完了したら、ニップルを固定するためにロックタイトを塗布してください。

ロックタイト 241 などの使用をお勧めします。

10.次に、リムテープを新たに貼ります。バルブ穴の 5cm 手前からテープを貼り始め、バルブ穴の 5cm 手前から 1 層テープを貼り終えます。リムテープのバルブ穴位置に小さな穴を開けます。

チューブレスバルブを使用する場合は、これで組み立てられます。

11.タイヤをリムに戻し、適切な圧力まで空気を入れます。